



611



114
A3671

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

巴黎博覽會參同ニ関スル方針
及實況

九鬼隆一

大體ノ方針



第一 明治三十三年佛國巴黎萬國大博覽會
ハ歐洲文明ノ中心タル佛國巴黎府ニ於テ
列國ノ平和的競争ヲ開始シ以テ輸贏ヲ決
セントスルニアリ 翻テ本邦ノ位地ヲ顧ミレハ戰
後初メテノ參同ニシテ且ツ條約改正實施ノ

秋ニ當レリ若シ此平和的競争ニ於テ不利
ヲ来サンカ國光ヲ損スルヤ大ナリ實ニ今回ノ
参同ハ決シテ容易ノ業ニ非ス然レトモ既ニ此
事業ニ從事ス必スヤ確守不拔ノ胸算ナクシ
テ可ナランヤ然リ而シテ萬國博覽會ノ事業
ハ他ノ行政各般ノ事業トハ稍其趣ヲ異ニシ
官民共同的ノ性質ヲ有ス而シテ從來ハ専ラ
官之ヲ掌ラサルヘカラサルノ事情アリシニ今ヤ民
業ノ發達及團體ノ結合等百般ノ事項日

ヲ逐テ進歩シ最早前日ノ比ニ非ス依テ今
回ハ此事業ノ性質及内外ノ趨勢ヲ察シ各
般ノ事總ヘテ從來ノ繩墨ニ拘泥セス官民和
協一致ノ大勢力ヲ此競争場裏ニ發揮スルノ
方針ヲ以テ此遠征ニ從事セリ隨テ國庫補助
ノ如キモ今回ハ從來ノ如ク普通ノ出品及販賣
品等ニ關シテハ運賃保險料等ヲ補給セス九
テ出品人ノ自辨トシ之ニ代フルニ出品ノ委託ヲ
受クヘキ諸協會ニ適當ノ區域ヲ限リテ出品ニ

關スル事項ヲ取扱ハシメ之ニ對シテ相當ノ手
當金及渡航人ノ船賃等ヲ補助シ又出品人
ニシテ渡航セントスルモノニモ必要ノ場合ニ於テ
ハ船賃ノ幾分ヲ補給スルコト、セリ且又出品
整理ノ方法ハ多數ヲ以テ執ヲ制センヨリハ寧
口精銳ヲ以テ彼ノ中堅ヲ突クノ方針ヲ取
ル若シ夫レ其細目ニ至テハ以下序ヲ逐テ略陳
スヘシ

第二、前陳ノ如ク萬國博覽會ノ事業ハ官民

共同ノ性質ヲ有スルト民間ノ狀態前日ノ比ニ
アラサルトニ依リ一面ニハ大體ノ方針ハ疾クニ略
之ヲ定メ一面ニハ民意ノ勃興ヲ促シ其定メタル
方針ヲシテ此勃興シタル民意ニ投センコトヲ謀リ
之カ實行方法ノ一トシテ評議員、調査委員、事
務官ノ三機關ヲ設ケ評議員ハ經驗家、實
業家ヲ主トシ傍ラ關係ノ官吏及各種専門ノ
學士ヲ加ヘテ之ヲ組織シ重要ノ事項ハ之ニ諮
詢シ調査委員ハ各種専門ノ學士ヲ主トシ傍ラ

經驗家及關係ノ官吏ヲ加ヘテ之ニ命シ以テ
各種ノ事項ヲ調査セシメ事務官ハ專ラ今固
ノ方針ニ適スル才幹アルモノヲ以テ之ニ任シタリ
必竟此等ノ設置ハ其機關ノ運行ニ一任スルニア
ラスシテ一面ニ於テハ既定ノ方針ヲ完全ニ執行
シ一面ニ於テハ民心ノ勃興ヲ促サント欲スルニアリ
又前段ノ評議員ハ專ラ立法的性質ヲ有ス
ルモノナルニ依リ成ルヘク多キヲ要スルモ經費上ノ
都合ニ依リ凡ソ五十餘名ニ止メ又調査委員ハ

專ラ技術ニ屬スルヲ以テ是レ又成ルヘク多數ヲ
要スルモ經費ノ都合ニ依リ四十餘名ニ止メタリ而
シテ事務官ハ專ラ既定ノ方針ヲ運用スルモ
ノナルニ依リ其數多キトキハ事務ノ敏捷ナラシヨ
リハ寧ロ緩慢ニ流ルノ弊ヲ生ス是レ行政百般
ノ事業ト異ナル所ナシ依テ其人負ハ六名ト定メ
更ニ之ヲ名科ニ分チ其性ノ長スル所ト其事務
ノ繁簡トヲ斟酌シテ其事務ヲ分擔セシメタリ
シニ目下ノ成績頗ル佳良ナリ若シ夫レ執筆算

數ノ如キハ其事務ノ件數ニ應シテ屬員ヲ
増損スヘキハ勿論ナリ

出品整理ノ方法

第三 萬國博覽會ノ參同ハ内國勸業博覽會

トハ稍其趣ヲ異ニシ概言セハ見本、廣告ニアリ
ト雖モ其出品ノ編成ハ對外的規畫ヲ肝要
トス今出品ノ編成ニ関スル方針ノ要領ヲ列
記スレハ

一、本邦特得ノ長技タル美術品、美術工藝

品ハ特ニ精撰シ鑑査ヲ遂ケテ出品ヲ許シ以
テ此平和的競争軍ノ中堅トスルコト

二、歐米ノ文明ヲ採取シ之ヲ活動スル所ノ有
形的重ナル物品即チ科學的機械工具ハ從
來ノ經驗ニ依レハ其出品頗ル寥々ナリ依テ今
回ハ大ニ之カ整備ヲ謀リ且ツ此事業ノ本旨ニ
適シタルモノヲ精撰シ成ルヘク多數ヲ出品スル
コト

三、普通商賣品ハ歐米ニ對スル重要輸出品ヲ以テ

主眼トシ既一之カ出品人資格、出品物類、出品
数量等ヲ規定シテ之ヲ發表セリ

但重要輸出品ト雖モ現ニ輸出ヲ為スコトヲ
得サル地方ハ出品スルノ必要ナク又其品質ニ
依リテハ之カ出品ニ適セサル地方アリ依テ既
ニ撰擇セシ物類ト雖モ更ニ地方ノ制限ヲ
加フルコトアルヘシ

四、前記ノ外教育、學藝、社會經濟等特殊
ノ出品若クハ目下重要輸出品ニアラサルモ將來

之カ見込アルモノハ出品ノ出願ヲ竣テ調査ヲ
遂ケ之ヲ許否ニ且ツ必要ノ處置ヲ為スコト

五、米、茶、生絲、繭、清酒、醬油、竹材、木蠟等ハ
本邦ノ特産物ナルモ一般ノ出品ニ委スルトキハ
複雑ニ流レ國家的形體ヲ失スルノ虞アリ依テ
此等ノ物類ハ屈指ノ當業者若クハ協會等一
名若クハ数名ヲシテ豪壯ナル出品ヲ為サシムル

コト

第四、第三項ノ一二ニ述ヘタルカ如ク本邦特得ノ長技

タル美術品、美術工藝品ヲ以テ本邦ノ平和的
軍隊ノ中堅トシ其二ニ述フルカ如ク大ニ科學的
諸機械工具ノ整備ヲ期スルニ依リ其着手ノ
方法トシテ左ノ計畫ヲ立テタリ

一、事務局出品中美術品、美術工藝品及諸機
械工具ニ関スルモノハ一面ニ於テハ懸賞ノ方法
ヲ以テ此等ノ圖按ヲ募集セリ而シテ應募者
ヨリ該圖按提出ノ上ハ各専門ノ學士ヲシテ調
査セシメ及第セシ圖按ニ基キ當業者ヲシテ製

作セシムルコト、シ一面ニ於テハ本年ヨリ明治卅二年
ニ至ル間全國各地ノ展覽會共進會等ノ出品中
優秀ナルモノヲ買上若クハ補助シテ出品セシムルコト
二、既に述フル如ク萬國博覽會ハ官民協同ノ事
業ニ屬スルニ依リ事務局ノ出品ハ豪壯雄大
ナランコトヲ期スルト同時ニ民間ノ出品モ亦優
秀ナラシムルコトヲ要スルニ依リ貴紳、富豪家、
妙技者等ヲシテ高雅秀麗ノ出品ヲ促スヲ以テ
肝要トス故ニ先ツ以テ帝室技藝員ヲシテ國光

ヲ發揮スルニ足ルヘキ物品ヲ製作セシメ之カ費用ハ
帝室ニ出願シ御内帑ノ内ヲ發
シテ御補助セラレシコトヲ出願スル見込ナリ蓋シ
帝室ハ技藝ノ淵源ニシテ臣民ノ是天ナリ之カ
出願ハ敢テ失當ナリト認メス又之ニ亞キ貴紳、
富豪家、妙技者等ヲ勸誘シテ秀拔ノ出品
ヲ為サシメシコトヲ欲シ既ニ之カ着手ヲ為レタリ

第五、既往百年間回顧博覽會及特別展覽會ハ
貴紳、富豪家等ヲ促シテ其所藏ニ係ル本邦

特有ノ美術品、美術工藝品ヲ蒐輯シ又其何カ
ハ 帝室博物館等ノ列品ヲ稱借シ事
務局ノ費用ヲ以テ出品セシメ本邦ノ歴史的沿
華上ヨリ我特得ノ長技トシテ他邦ノ企及スヘカ
ラサル所以ヲ顯彰シ以テ此我精華ヲ此公會場
ニ發揮スヘキ見込ナリ

政府出品

第六、教育、學藝、社會經濟、衛生、戰術其他各種
ノ事項ニシテ政府出品ニ適スルモノハ夫々當該

官廳ニ照會ヲ發シテ之カ撰擇及類集ヲ促シ
タリ依テ事務局ハ此等ノ回答ヲ得テ後相當ノ
査書ヲ畫スヘキ見込ナリ

第七、事務局ノ出品ハ第四項ニ述フルカ如ク美術
品、美術工藝品及諸機械ニ具テ主眼トシ左ノ
方針ヲ取リタリ

一、本邦ノ美術史ヲ佛文ニテ編纂シ之ヲ出品ス
ル見込ヲ以テ既ニ此事業ニ從事セシメタリ

二、既ニ募集セシ図按ノ内優秀ナルモノヲ撰擇

シ相當ノ技術家若クハ當業者ニ命シテ製作
セシムルコト、セリ

三、前段圖按ノ提出ナキモノト雖モ全國技術
家若クハ當業者中屈指ノモノニハ特ニ命シテ
製作セシムルコト、セリ

第八、前項ノ如ク定ムト雖モ進歩ヲ發表シ國光
ヲ發耀シ文明ヲ顕彰シ國力ヲ表明シ若クハ外
國人ノ來遊ヲ促スヘキモノ等ノ類ニシテ適當ノ出品
者ナレト認ムルモノハ事務局ニ於テ調査撰擇ヲ

経テ同局ヨリ便宜出品スヘキ見込ヲ以テ既ニ之カ
調査ニ従事セシメタリ

販賣店其他附屬施設

第九、販賣店ハ販路擴張上頗ル重要ニ屬スト雖モ
國庫ノ補助多キニ過クルトキハ或ハ廉價ニ賣
却シ將來ノ貿易ニ利ヲラサルノ弊ナレトセス又之カ
補助ヲ全廢スルトキハ販路ヲ擴張スルニ於テ千
載一時ノ期ヲ失ス依テ今回ハ事務局ニ於テハ
補助ノ一種トシテ販賣店ノ建物ヲ建築シテ貸

付スルニ止メ其他一切補助ヲ為サ、ランコトヲ期
ス

但販賣店ニ関スル一切ノ事項ハ事務局ニ於
テ終始監督シ國家的利益線ニ損傷ナキヲ
努ムルハ勿論ナリ

第十、茶ハ彼ノ嗜好ヲ導キ將來ノ販路ヲ擴張
スルノ見込アリ又本邦ノ庭園及園藝ハ我長技
トシテ彼ニ誇ルニ足ルヘシ依テ是等ノ物品ニハ若
干ノ補助ヲ與ヘ適當ノ協會若クハ團體等

ヲシテ高趣幽雅ナル庭園ヲ設ケレノ之ニ各種ノ
園藝品ヲ臚列シ園内適宜ノ場所ニ喫茶店
ヲ設ケ一面ニ於テハ本邦高雅ノ風致ヲ顕表
シ一面ニ於テハ製茶ノ販路ヲ擴張セシムル方
法ヲ取ラント欲ス

出品委託協會

第十一、從來ノ例ニ依レハ出品ノ委託ヲ引受クル
諸協會ハ各地ニ重複勃興シ統一ヲ缺クノ弊
ナキニアラス依テ今回ハ全國ニ付毎種一協會ニ

限ルコト、シ責任管理ノ方法ヲ設ケレムル見込
ナリ而シテ之カ協會ハ既ニ稍々完全ニ成立セ
ントスルノ見込アリ

飾箱及裝飾

第十二、飾箱及裝飾ノ事項ハ亦重要事ノ一
ニ屬ス故ニ之カ重ナル材料ハ本邦ヨリ輸送シ
職工モ亦本邦ヨリ派遣シ彼地ニテ其建物及出
品ニ適應シタル飾箱及裝飾ヲ為サシムル見込
ナリ

雜件

第十三、美術品及美術工藝品ニ関スル鑑査ノ
方法、出品出願ノ調査及許否ノ方法、出品ノ
輸送及配列ノ方法、販賣店監督ノ方法、庭
園ノ築造、喫茶店監督ノ方法、并ニ官廳出
品ノ調査、調製、蒐輯、輸送ノ方法、既往百年
間回顧博覽會、特別展覽會等ニ関スル各般
ノ方法等其詳細節目ハ頗ル冗長ニ涉ルヲ以
テ茲ニ之ヲ省ク

之ヲ要スルニ今回ノ參同ハ官民和協一致共同ノ大
勢力ヲ列國ノ平和的競爭場裏ニ發揮スルノ
方針ヲ以テ着々進行セシニ目下ノ狀況ニ依レハ
百般ノ畫策渾ヘテ内外ノ形勢ニ投合シ其成果
頗ル佳良ナルノ徵アリ其大體ニ於テハ今更變更
スルノ餘地ナシ

上

上

上